

# すま Smile いる

木から伝える

ものづくりの魅力

美川町南桑の山奥にある作業場で世界に一つだけの手作り家具を製作しているのは郡司掛信也さんです。

生まれも育ちも福岡県北九州市の郡司掛さん。福岡県内の大学を卒業し、地元企業でサラリーマンとして生活していた中、ふと手に取った雑誌で美川町の木工会社が人材募集をしていることを知りました。もともと田舎暮らし

に興味があった郡司掛さんは、美川町の山に囲まれた環境と美しい錦川に魅せられ、ここで子育てをしながら仕事をしたいと思い移住を決意します。

木に関する知識や家具製作の経験が全くない状況からのスタートでしたが、毎日木材に触れながら少しずつ技術を身に付け、数年たった頃には一人でテーブルや食器棚などの家具を作れるようになりました。「今

▼美川町南桑の作業場で木材を加工する郡司掛さん



でも作業中に小さい怪我はしょっちゅうしますけど、自分の作ったものがカタチとして残り使われ続けることが何よりも幸せですね」大量生産品とは違って同じものがどこにもないのが手作りの良さだと言う郡司掛さん。「質の良い木には不要に手をかけすぎずシンプルに作品を仕上げるよう

心掛けています」

その後もさらに経験を積みながら5年前に独立。その際に一人でも多くの人に手作りの良さを知ってもらいたいと思い、翌年からもものづくりの仲間を集めて「美川の手仕事市」という催しを始めました。4回目の開催となる今年には出店する団体も増え、たくさんの方が会場を訪れました。将来的には訪れた人たちが丸一日楽しめるように山代地区全体を見て回れるようなイベントになることを夢見ています。

その他にも木工教室を通してものづくりの楽しさを伝える活動を行っている郡司掛さん。「自分の手で本物の木に触れながら一つの作品を作っていく楽しさを一人でも多くの人に伝えていきたいですね」そう語る郡司掛さんは、これからも山口県の木で作った家具をたくさんの人に使ってもらいたいという思いで作品を作り続けます。

Vol.111

ぐんじがけ  
郡司掛 信也さん  
(美川町在住)

19年前に福岡県から家族で美川町に移住。手作り家具の製作や木工教室などの活動を行う。木工製品の展示即売所でもある市の施設「ウッドビレッジみかわ」の管理運営もしている。



▲ウッドビレッジみかわでは木工家具などの展示・販売を行っている



▲今年で4回目の開催となる「美川の手仕事市」